

やはり、クラブの中には、しっかりした根拠を持って、厳しい意見をいわれるところもあります。それに対して十分な説明ができないとしっかりと勉強してきたつもりですが寂しいものがあります。いくら知識があり博学であっても心といえますか思いが伝わらないと理解していただけない。クラブ運営がしっかりとなくなされているクラブは結束が固く、人数が少なくても個々のつながりが非常に強いものだと感じます。広島クラブなんかは大所帯で、それぞれが独善的に進めているようにも見えますが、ロータリーに対する個々のステータスとお互い尊重しあう気持ちがあるように思います。いい加減な気持ちでなく異業種が集まる場ですから、個の尊重と連携、敬う気持ちが大切だと思います。さて、年を越してIMがありました。今年のIMはいろんな意味でバラエティーで、IMの運営の中で会員同士感じることは内部的な思考ではなく客観的な見方をさせていただいたんじゃないかと思えます。IMはグループの交流と親睦、そして活動しているクラブの知識等を研修する場なので、固定概念的に決めつけず、中心的な意図を汲みとっていただくようなものであればいいと思えます。この度の韓国との交流ですが、日程が直前になって変更されたりして振り回された観がありますが、なんとか30数名訪問させて頂きました。第3690地区総裁が病気になって晩餐会にも出席されておらず、それまでノミニ・エレクトそしてガバナー年度と交流を重ねてきただけにさみしい思いがしました。田村年度も引き続き韓国との交流を継続されるものと期待します。韓国は今や日本を追い越す勢いで、インチョンの空港にしてもハブ空港の大きいこと、サムソンなど巨大な企業が急成長して日本のメーカーを追い越しています。会員の増強率にしても目覚ましいものがあるこれら韓国・インドなどの人々が抱いている世界をあるいは周辺諸国を睨んだ戦略的な意識を見習わなければならないことが多いのではないかと思います。いま、東日本大震災について視察した写真を回しております。壮絶な自然の驚異はまるで戦場のようでした。まだ8,000人もの方不明者がいるようです。陸前高田市に参りましたが、死体安置所には原型をとどめないような遺体が安置され、想像をはるかに超える状況でした。この度ガバナー会では、ファイブフォーワンといっ

て5つのクラブで被災クラブ1つを支援していこうじゃないかということで意見をまとめているところで。被災クラブが45でありますが、被災クラブ1クラブを全国の5クラブ前後で支援していこうと考えています。支援クラブで何がしかの資金を集めたとしたらそれと同額の補助をガバナー会のほうからして倍にして支援しようじゃないかということを検討中です。次の7月1日にあるガバナー会で決定することになるかと思えます。自然の威力をまざまざと見せつけられたこの度の災害ですが、我々の身にもいつなんどき起きるかわからないことで、お互いに助けあう気持で支援にご協力いただければと考えています。もう一つ、東日本大震災の支援についてガバナー会ではもうひとつの柱があり継続していきたいと思えます。それは、震災遺児のために教育環境を整える支援をしていきたいと思えます。今全国より集まった義援金は約9億あり、そのうち約1億を被災地におくっていますが、残りの8億を不足をファイブフォーワンのクラブ支援と震災遺児の支援に当てていきたいと思えます。そして、来年の田村年度になりますと、約5億を集めて奨学金とかそうした支援に当てていくことを考えています。それは、まだ決定ではありませんが、一人当たり1万円くらいの義援金を負担願う支援に当てていこうじゃないかと考えています。また、国際大会におきましては、たくさんの方に参加頂きありがとうございます。ガバナーナイトではホテルのマナーが悪くてご迷惑をかけました。厳しく抗議をしましたら詫言状が参りました。1年間、いろんなことがありましたが、皆様には大変暖かいご支援とご協力を頂きましたことを感謝いたします。来年は、柳井の田村ガバナーですが、柳井RCが28名、柳井西も同じくらい。合わせて50数名で組織づくりをされるということで、我々も協力体制で望まなければならないと思えます。次々年度に呉の大乃木さん、その次には下関西の沖田さんがガバナー予定者に決まりました。年々そうして組織の維持をし、会員がそれを支えて1年1年を自らを見つめ直し新しい気持ちで取り組んでいただきたいと思います。来年は、一会員として今後とも宜しくお願いしまして、卓話としたいと思います。一年間ありがとうございます。

2011年 6月30日(木)

第 46号

本日のプログラム	夜間例会
次回例会	7月7日(木) 12:30~ 三次商工会議所
次回プログラム予告	理事役員挨拶

例会記録・・・6月23日

- 点 鐘・・・・・・中川筆之 会長
- ソング・・・・・・「君が代」「我等の生業」
- ゲスト・・・・・・第2710地区 ガバナー前田茂 様
- ビジター・・・・中西佳代子 様(三次中央RC)



会長挨拶 ■中川 筆之 会長



失礼いたします。一週間のご無沙汰です。会長挨拶の任期も残すところ後2回です。最終回は夜間ですので手短かに挨拶を考えていますので、今日は少しまじめな話をさせて頂きます。昨日は一年で一番日の長い夏至でした。日の出が午前4時53分で冬至の日の出が午前7時過ぎと半年で実に2時間弱の時間差があるとニュースで言っていました。この原因は地軸つまり地球の軸が23.5度傾いているのからです。何故傾いたのか？原因の一つの説に地球が出来てまだ間も無い頃に別な星が地球に衝突してその衝撃で地軸が傾いたと言われています。そして飛び散った破片が融合して月が形成された。ともあの繁栄を極めた恐竜がメキシコユカタン半島に巨大な隕石が落下した結果地球の気候が激変したことにより絶滅したと説があります。地球の自転時間は正確には一日23時間56分4,0905秒で我々はこれを24時間と捕らえて生活していますが、問題なのは地球が太陽の周りを一周するのにかかる時間が365日と5時間49秒かかることです。ですから西暦が4で割れる歳を閏年として調整しています。それでも誤差が生じますので400の倍数の歳を除き100の倍数の歳にも閏年のように時間調整することです。この太陽暦を考案した人の偉大さを改めて考えます。本日は以上です。

幹事報告 ■菅原 暢之 幹事

- 次週の夜間例会はグランラサーレ三次にて18：30より開催いたします。
- 三次中央RCよりG12 I. M. 講師アーサー・ホーランド氏の講演DVD。
- 会員推薦状を回覧します。

出席報告 ■新家 良和 次年度委員長

6月9日の出席報告					本日（6月23日）の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
44	29	3	5	84.44%	44	25	5	14

Make-up 中川会員（RI国際大会）・小田(聡)（東城）・伊藤会員（下関ロータリー）

委員会報告

- 沖田親睦委員長
今年度最後の夜間例会の案内。6/30午後6:30～グランラサーレ平安閣

SAA報告 ■為石 肇 副SAA

スマイル7,000円

中西佳代子	久しぶりに来させていただきました。よろしくお願ひします。
明山晃映	過日、世界大会「日本人朝食会」で同席しました東京荒川ロータリーとバナー交換をいたしましたので持参いたしました。
前田茂	本人誕生日
伊藤将	入会月・本人誕生日

プログラム

前田ガバナー卓話



**■前田ガバナー卓話
「ガバナー年度を終えて心より感謝をこめて」**

年度もあとわずかとなりました。ガバナー会をあと1回と新年度の諮問委員会への報告を残すのみとなりました。

だいぶ肩の荷も降りて、この1年クラブの皆様にはたいへんお世話になりました。

先日東広島の土肥パストガバナーがいらして、姉妹縁組の調印式にあたってガバナーの署名がいるということで署名させていただきました。

その東広島21RCは20名程度のクラブで、相手は福島21RCも20名くらいで立ち上げられたクラブで、会員増強をして地区内のトップクラスに推し上げようと一生懸命頑張っておられ、これは広島でいえば広島クラブが126名の会員だと思えますが、20名をそこまで増やそうという気力と意欲を集中させて地区内第二位に押し上げたそうです。

ロータリーというのは、何の組織にしてもそうですが、意欲と目標を持って邁進するそういう気持ちが大事なのではないかと思えます。

ご承知のとおり、2710地区3,284名で引き継いで、現在3,340名前後で55名増となっていますが、6月は退会者が多いということで会員の維持ができるだろうか心配です。

人生の中でいろいろメリハリがあると思えますが、自分の生きざまにおいて逃げていたのではいけない。果敢に挑戦しながら自分としての思いをその中に入れていかないといけない。仏作って魂入れずでは、虚しいものがあるかと思えます。三次RCにおいても先輩の意を汲みながら、その中に自分を置いてみてはこれから自分はどのようにすればいいか考えないといけないと思うんです。

日本でもRIでも意識の変化を求められています

が、その時代時代を踏まえて先達の会員に敬意を表しながら次なるステップを踏まなければいけないとこの1年を通じて感じさせていただきました。

私の1年を振り返ってみると、G12の皆様とりわけ当クラブの皆様には大変お世話になったこと厚く御礼申し上げます。

また雨に祟らてた年度でした。サンディエゴの会議ではこんなに雨の降るところじゃないと云われるリゾート地で1週間ずっと雨。年度に入り7/11に庄原のゲリラ豪雨による災害が発生し、義援金お願いから1年が始まりました。

谷岡実行委員長のもと、いろんな障害を乗り越え、意見の集約もままならない中で地区大会を綺麗にまとめて頂きました。

地区内各クラブにおいていろいろ評価を頂いています。

月信についても日本にある全34地区に送っておりますが、ある地区のガバナーからは関心をもって頂きました。こうしていろいろ努力をして得た達成感-努力が実ったんだという気持ちを味わうことがないと意味が薄れるんじゃないかと思えます。

地区大会において三次クラブまたG12の皆様には大変お世話になりあらためて感謝いたしております。

7月にスタートしまして年内に74クラブの公式訪問を終えないと、次のIMとか周年行事に支障をきたすのですが、なんとか終わることができました。当初、私の信条等を十分伝えることができずにいたのですが、随伴幹事・副幹事等の皆様に随伴頂きながら、なんとか完遂することができました。

地区内のクラブを回っていますといろいろカラーが違います。そのクラブを創り上げてこられた先輩方の意図が感じられます。G12に属するクラブは、より心をひとつにして絆を確認し、事業や奉仕、親睦をすすめる上でもしっかりと結束することを意識していただきたいと思えます。